

視察研修報告書

令和6年1月11日（木）12日（金）、（議会運営委員会）で視察研修のため、（鹿児島県「始良市議会」、宮崎県「都城市議会」、鹿児島県「霧島市議会」での議会改革研修に参加しましたので、その内容について別紙（下記）のとおり報告いたします。

粕屋町議会議長 小池弘基様

令和6年2月8日

職名 粕屋町議会文教厚生常任委員会

氏名 井上正宏

報告事項 始良市議会、都城市議会、霧島市議会の議会改革について

（1）研修内容の報告

始良市議会、都城市議会、霧島市議会の議会改革の視察でした。粕屋町議会改革を進めていく中でのヒントはたくさんいただいた感じがします。

特に、都城市議会議会改革の中でのたくさんの資料は、今後、粕屋町議会改革のモデルになるような取組も充分考えられるかなと思います。

例えば、資料の都城市議会政策形成ガイドラインなどは、今後、粕屋町議会改革をさらに向上させ、粕屋町議会がレベルアップして行く中で必要不可欠な取組だと思います。粕屋町も粕屋町独自の政策形成ガイドラインを作成する必要があるのではないのでしょうか。

また、始良市議会の今後の議員定数削減、議員報酬アップの改正は峯下議員の発言「振り上げた手を下すわけにはいかない」はなみなみならぬ議会改革の決意が伝わり、粕屋町も議員報酬改正はさけてと通れない課題ですので今後の始良市議会の進捗状況は興味、関心をもって見守り勉強したいと思います。

3つの市議会の議会改革のポイントは、いまさらと言われるかもしれませんが、議員間討議の推進と活用、議会の政策立案、政策提言の向上、町民参加は町民の意見を吸い上げる場を増やし、議会改革を進めていく中での議会基本条例の検証、見直し、改正は、随時必要ではないかと痛感しました。さらに議会改革の中で広報、広聴の取組がいかに大切か教示していただきました。

（2）粕屋町の状況

議会基本条例の検証、見直し、改正は、議会運営委員会の最重要課題として現在取り組んでいます。改選前の議会運営委員会でも取り組んでいたわけですが、議員間でのさまざまな意見の中で最後はまとめることができず頓挫してしまった状況で何をしていたのかと糾弾されても仕方のない状況を生み出しました。

その事を踏まえ、昨年の5月下旬から議会運営委員会で改選前の議会基本条例の検証、見直し、改正の失敗を活かし、学識者（早稲田大学マニフェスト地域経営推進センター）による長内教授から粕屋町議会基本条例の外部検証評価）のご教示をいただき、議員間討議をするなかで各議員の物差しがそろうようになってきました。

（3）課題

残り1年の議会活動の中で議会改革をどう進めて行くか、粕屋町議会の弱い部分「議員間討議」「政策立案・政策提言の向上」「議会報告会」等の向上などをどうしたら効率的、効果的にできるか調査、研究が議会運営委員会に求められています。今後、議会基本条例の課題のまとめ、今後のスケジュールについて検討していきます。

そのためには、視察、議員間同士での研修会も必要ですが、次の改選後、誰が中心になり、今取り組んでいる議会改革を実践、行動して行くかが鍵となることをお伝えします。